

# 教育センターだより



スケートもはじめて…初任者研修(県立スケート場)

## 目 次

- ・自然とつきあう  
秋田県教育研究発表会記念講演から……………2
- ・研究発表会参加者の声……………2
- ・秋田県教育研究発表会テーマ等一覧……………3
- ・秋田県教育風土記 音楽の巻……………4
- ・平成四年度の開発ソフトから……………5
- ・平成五年度県教育センター研修講座について……………6
- ・平成四年度教育センター刊行物紹介……………6

第 56 号

平成5年3月12日

秋田県教育センター

秋田市仁井田緑町4番2号  
☎ (0188) 32-3594

雲仙普賢岳の問題

雲仙普賢岳の噴火にもなつて、現在も二千人の人たちが避難生活をしている。この方々の生活の再建は、数年は不可能といわれている。現在、活火山は北方領土、水底火山を除いて六十二か所あるが、すべて開発されて多くの人が

が噴火の可能性があるとどこに住んでいられることになる。こう考えると、現代は人間がいかにうまく自然とつきあうかが問われている時代であると思う。

環境変化が招いた災害

最近起こった釧路沖地震では、埋め立てて造成した港湾地帯に被害が集中した。日本海中部地震でも沼、湿地を埋めたてた新興地や砂丘地に液化化現象が頻発した。砂丘地の液化化現象は、砂と砂とを結びつける核となる物質の崩壊による。一方、新潟地震では信濃川の旧河道を埋め立てた街に液化化現象が集中した。本来、沼、湿地（もとは海だった）、山、そして川に所属していたものを人間の所屬に変えたため、大地が反乱を起こしたのである。

自然とつきあう

第7回 秋田県教育研究発表会記念講演から

熱帯林の減少

現在、世界に十七億ヘクタールの熱帯林がある。しかし、毎年一千七百万ヘクタールの割合で伐採されている。熱帯林には生物の半分の種類が住んでいる。このままでは百年後には

熱帯林は消滅し、生物の種類も半減することになる。

この原因は、日本も含めた先進国による伐採とあいまつて、発展途上国の焼畑農業、あるいは、えびの養殖等があげられる。環境問題と系

環境問題は、「系」の問題であり、そのバランスの上に成り立っているものを人間が破壊した結果、人間自身にはねかえってきているのである。ブナ林の保護

世界でも稀なほど大規模の白神山地のブナ林を守ろうとする運動が起こったのは、七、八年前である。縄文人文化は、ブナ林とともにあり、東日本の文化は、ブナ林から発生したといつてよい。ブナ林には保水能力があるのに、それを成長の早い針葉樹に代えたため各地で水不足をきたし、また、自然破壊の原因となっている。人間の時間、自然の時間

地球誕生から現在までを一年間にたとえたら人間の誕生は大晦日の午後七時となる。その五時間の大部分を人間は自然とうまく付き合ってきた。しかし、現在最後の一秒にも満たない瞬間に人間は独自の系を作つて、さまざまな摩擦を起こしている。

(文教大学教授、NHK解説委員伊藤和明氏の講演の要旨を当教育センターがまとめた。)



秋田県教育研究発表会開会式風景

研究発表会参加者の声

教育研究発表会では、様々な分野の研究に触れることができ、また講演会では、釧路沖地震や白神山地のぶな林などの大変興味ある話を直接聞くことができました。これまでも、いくつかの協議会や学会に参加していますが、本研究発表会では具体的な実践を踏まえた研究が多く、優れた研究発表会でした。

私も発表者として、情報教育分野に参加しましたが、本研究発表会では実に多くのことを学びました。一つは、研究発表会を聞くことにより、自分の研究に関連した新しい研究に触れることができたことです。特に、理科に関する現象のイメージの指導の在り方について大変参考になる研究がありました。現象のイメージの指導については、本校の校内授業研究会でも取り上げられており、一つの方向を見いだすことができました。また、自分の研究の成果を参加者の目を通して見ることもできました。特に、小・中学校の先生方から貴重な意見などを頂いたり、休憩時間を利用しての討論により、自分の研究の不備な点を知り、今後の研究の方向を見いだすことができました。

研究発表会は一つの研究のまとめの場であると同時に、次の研究の始まりの場でもあると思います。教師としての自分を研く場としての教育研究発表会に今後も参加したいと思えます。

(県立能代高等学校教諭 川村幸生)

第7回秋田県教育研究発表会テーマ等一覧

幼児の主体的活動を促す教師のかかわり 学校法人上宮第一幼稚園 主任教諭 小西 和子	スポーツテスト処理と体育評価の一元化を図るソフト作成 県教育センター研修員 保坂聖一郎(県立新屋高校)
思いやりの心が育つ生活科 阿仁町立阿仁合小学校 教諭 三浦 祐子	「木材加工」領域における男女共用実習題材の研究 藤里町立藤里中学校 教諭 加賀 英与
興味・関心を大切に、生活体験を取り入れた指導の工夫 若美町立私戸小学校 教諭 武田 聡子	評価についての研究 県立男鹿工業高等学校 教諭 川田 信
自らはたらきかけ、生き生きと活動する子どもを目標として 岩城町立道川小学校 教諭 高橋 孝子	コンピュータを利用した空間図形の教材作成と指導の工夫 県教育センター研修員 大野 進(秋田市立東小)
思いやりやさしさの心の育ちを地域とのかかわりの中に求めて 中仙町立中仙幼稚園 主任教諭 九島 弘子	郷土の素材を生かした「ふるさと学習」 男鹿市立鹿山小学校 教諭 小玉 史男
生活科における教師の役割と援助 県教育センター研修員 佐々木 友(矢島町立矢島小)	幼児期における身近な自然環境とのかかわり 県教育センター研修員 船木 牧子(男鹿市立船川南小)
一人一人の子供が意欲的に対象にかかわるための指導 仁賀保町立平沢小学校 教諭 米持 隆司	自らはたらきかけ、生き生きと活動できる子供の育成 雄物川町立沼館小学校 教諭 土田 洋子・鈴木 弘子
学校週5日制の実施と生徒の余暇活動について 本荘市立石沢中学校 教諭 石塚 雅人	子どもが生き生きと活動できる指導と評価の在り方 大曲市立大曲小学校 教諭 佐々木 光
人間としての生き方を求める体験活動の創造 横手市立鳳中学校 教諭 瀬田川 仁	生活科における活動・体験の意義と方法 県教育センター指導主事 浜田 純
保護者と連携し、地域の協力を得て行う体験学習 合川町立合川中学校 教諭 照内 捷二	人と人とのふれあいを大切に、開かれた心をもつ子どもの育成 男鹿市立船川第一小学校 教諭 三浦 豊彦
“おもい”を残す道徳学習 横手市立栄小学校 教諭 高橋美紀子	「人間理解」を基本にした国際理解教育 横手市立栄小学校 教諭 高橋 晋
豊かな心を育てるために ニッ井町立仁鮎小学校 教諭 皆川 雅仁	子供のよさに気付かせ、道徳実践力を高める指導 県教育センター研修員 藤井紀代子(秋田市立飯島南小)
中学校数学科における課題学習の進め方 県教育センター指導主事 藤原 和平	進路の授業における先輩事例資料の有用性 県教育センター研修員 齊藤 正博(天王町立天王中)
カメレオンエマルジョンの研究 県立秋田西高等学校 教諭 船木 文子	秋田県における道徳教育の現状と課題 県教育センター指導主事 中川 和彦
小学校体育科における授業運営の一考察 湯沢市立須川小学校 教諭 武石 正孝	表現力を高める文学教材の指導(中学校) 県教育センター研修員 笹村 幸市(秋田市立明德小)
理科B区分における量概念形成を図る単元構成の工夫 県教育センター研修員 佐藤 芳昭(秋田市立築山小)	確かな基礎学力を身につけさせる個に応じた指導法の工夫 比内町立西館小学校 教諭 佐藤 久生
意欲的に表現でき、成就感を味わわせる指導 小坂町立小坂中学校 教諭 中嶋 達美	「家庭生活」領域の効果的な授業展開の手立て(中学校) 県教育センター研修員 森谷 芳子(秋田市立秋田西中)
体験活動を取り入れた家庭科の授業の構想と展開 大館市立城西小学校 教諭 一関 光	自ら進んで学ぶ子どもを求めて 大曲市立大曲小学校 教諭 後藤 晃裕
学が喜びを味わわせる学習指導 ニッ井町立ニッ井小学校 教諭 佐々木千鶴子	音楽科における主体性を促す表現活動(小学校) 県教育センター研修員 渡辺 光枝(天王町立追分小)
低学年における登校拒否(不登校)児童へのかかわり方 県教育センター研修員 島澤 正義(大館市立桂城小)	発達に遅れをもつ子供の図面工作の指導 県教育センター研修員 木村 庵(五城目町立五城目小)
登校拒否(不登校)児童への学級担任のかかわり方 県教育センター研修員 高橋 武彦(秋田市立太平小)	文学作品にみる特殊学級の今日的課題 男鹿市立船川第一小学校 教諭 見上 和子
不登校児童S. S君 365日の記録 大館市立城西小学校 教諭 三澤 正敏	雙学校におけるポートボール学習の指導 県教育センター研修員 渡部 陸子(県立雙学校)
登校拒否(不登校)予防のための仲間作り 県教育センター研修員 児玉 宏紀(西仙北町立刈和野中)	余暇活動をふまえた作業学習 県教育センター研修員 橋本 英紀(県立比内養護学校吉野分校)
児童生徒の問題行動の現状と指導の在り方 県教育センター指導主事 吉川 一成	秋田県における精神薄弱特殊学級の現状と課題 県教育センター指導主事 本郷 達郎
一人一人の意欲を育てる作文指導 県立能代農業高等学校 教諭 貝田 桃子	日本海中部地震の特徴 比内町立比内中学校 教諭 伊藤 康栄
島崎藤村の詩の分析とその教材化 県教育センター主任指導主事 仙葉 清志	秋田県の翼翼選挙の実態 県立能代高等学校 教諭 荒川 肇
家庭科における個に応じた授業設計と実践 県教育センター指導主事 山崎真理子	社会科地理における国際理解の体系化 県立秋田北高等学校 教諭 古内 一樹
男女が共に学ぶ家庭科の指導と教材の工夫(高等学校) 県教育センター研修員 佐々木みか子(県立西目高校)	身近な地域の教材化Ⅰ—高校地理による野外調査— 県立秋田西高等学校 教諭 伊藤 尚
表現意欲を喚起する英語指導 小坂町立小坂中学校 教諭 清水エミ子	身近な地域の教材化Ⅱ—高校地理による野外調査— 県立秋田西高等学校 教諭 武藤 憲一
英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の涵養とリスニング並びにスピーキング能力の養成について 県立大館鳳鳴高等学校 教諭 松下 光夫	「商業」におけるコンピュータを活用した財務諸表分析の指導 県教育センター研修員 竹屋 敬一(県立大曲高校)
学習意欲を育てる試み 県立仁賀保高等学校 教諭 中川 彦春	中学校理科第2分野におけるCAI教材の作成と指導 県教育センター研修員 小松 弘行(西目町立西目小)
コンピュータ制御の教材化 西目町立西目中学校 教諭 小林 俊夫	自作ソフトウェアを活用したショウジョウバエの遺伝の指導 県立能代高等学校 教諭 川村 幸生
「情報基礎」の内容構成と指導の工夫 県教育センター指導主事 竹村 強	C言語による高校入試事務処理ソフトの開発 県立能代工業高等学校 教諭 小山 昌岐
「学校経営診断評価表」からみた本校の現状と課題 県立由利高等学校 教頭 堀井 一夫	秋田県高卒就職者に対する企業人の意識 県教育センター指導主事 根岸 均

# 秋田県教育凡そ記

その9 音楽の巻 羽川 正

本県の音楽教育の歩みについて原稿をまとめるため資料収集に当たったが、音楽教育研究会創立五十周年記念誌の中の、元研究会長の松本秋次氏がまとめられた県音楽教育研究会沿革概要が、大変優れたものなので参考にさせていただいた。

## ★創設期の人々

本県の音楽関係者による研究団体の創設は、明治三十三年、当時の師範学校長が会長となり「音楽研究会」を設立した記録がある。大正時代になると、郷土出身の成田為三を代表に、小松耕輔、小田嶋樹人らが、中央で次々と童謡や歌曲を発表し、県内の音楽教育に多大な刺激を与えた。

昭和七年になるとNHK秋田放送局が開局、小野崎晋三指揮による秋田教員混声合唱団を組織、昭和十三年、小野崎晋三を中心に小・中の教員によって県音楽教育研究会を創設したと記録されている。

また、音楽教育研究会創設後の活動は、授業研究会、講演会、講習会、記念演奏会など、とても活発な活動を展開していた。

## ★戦後の研究会と音楽活動

昭和二十一年、戦時中に中断していたNHK唱歌コンクール秋田県大会を再開、十二月には

成田為三追悼音楽会を県記念館で開催した。

昭和二十二年には合唱団「カンパネラ・コール」（代表木内博）が発足し、創立当時のメンバーがその後の音研の中心となって活躍した。昭和二十四年には第一回秋田県音楽コンクールを開催、県内若手音楽家の登龍門となり十年間続いた。

昭和二十五年には、NHK秋田放送局に放送児童合唱団を創設、大守崇男が中心に指導した。当時、音楽講習会で秋田県をよく指導した人々には教科調査官の真篠将や、松本民之助、岡本敏明、諸井三郎らがあり、県の音楽教育に多大の影響を与えた。

昭和三十二年秋田県吹奏楽連盟が結成される。また、この年第五回東北音楽教育研究会秋田大会が中通小学校会場で二日間開催される。昭和三十六年、国体が秋田で開催され、開会式における吹奏楽の進行とファンファーレは絶賛の拍手を浴び、この事は、以後の吹奏楽発展の基礎となった。

昭和四十一年本会の研究誌「音楽教育秋田」第一号を創刊する。

## ★全国音楽教育研究会の開催

昭和三十八年第十回全国音楽教育研究会秋田大会が秋大附属校園・県民会館を中心に二日間行われる。この大会を基盤に、秋田県の音楽教育の充実が図られた。

昭和三十九年には、音楽研究会の各郡支部の組織も整備された。なお、四十三年には、民放の「こども音楽コンクール」が開催された。

## ★各種コンクールでの活躍

昭和四十四年、秋田市中通小学校（指導鳥嶋）が、NHK学校音楽コンクール小学校の部で全国最優秀を受賞。また、吹奏楽では、秋田市山王中学校（指導木内）が四十六年から五年連続全国金賞を受賞。高校では、花輪高校（指導佐藤修一）秋田南高校（指導高橋絃一）が全国金賞を連続受賞。四十六年には、「こども音楽コンクール」で横手南小学校（指導佐々木宏）秋田南中学校（指導三浦修二）が全国最優秀文部大臣賞を受賞、その後も秋田南中はNHKコンクールなどで数多くの全国優勝を果たした。吹奏楽、合唱ともに全国をリードする指導者がいたことは特筆すべきことであった。

## ★「大いなる秋田」と音楽教育

昭和四十三年、秋田県が明治百年を記念し、県出身作曲家石井 敏に依頼、合唱と吹奏楽のための交声曲「大いなる秋田」を完成、毎年多くの場で公演される等、吹奏楽発展と音楽教育に良い影響を与えている。

## ★新しい息吹

若い音楽教師たちは、中学校から音楽活動の経験を持ち、大学で専門の楽器演奏を体験している。県内の小・中学校では、優れたオーケストラ活動も見られ、全校音楽活動でも豊かな音楽表現が見られるようになった。

大曲市の大川西根小学校では、音楽ホールにパイプ・オルガンを設置、全国的に注目され、時代の変容を深く感じさせる。

（県音楽教育研究会幹事長）

## 平成四年度の開発ソフトから

当教育センターでは、昭和63年度から教育用ソフトウェア開発委員会を組織し、各種教材開発をしてパソコンを活用する授業に役立ててきました。今年度もすばらしいソフトがたくさん完成しましたので、ここにその一部を紹介します。

これらのソフトは4月には一覧表にまとめてすべての学校にお知らせします。必要なものを選んで大いにご利用ください。ソフトは従来どおり来所、郵送、パソコン通信により受領することができます。(タイトルの後ろは使用ツールです。)

小学校・算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「時計学習プログラム」(n88BASIC) アナログ時計の「短針」や「長針」の読みとりを楽しく学ぶ小学校1、2年の時計学習用ソフトです。針が動きます。</li> <li>・「四角形の性質」(Friendly CAT) 四角形の性質を比較する際に、視覚的にとらえることをねらいとしました。5種類の四角形を統合的にとらえようとしています。</li> </ul>
中学校・数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「二元一次方程式のグラフ」(n88BASIC) 二元一次方程式と一次関数のつながりや、等式変形を明確にしグラフとして表すことができるようにしてあります。</li> <li>・「関数とグラフ」(QuickBASIC) 一次関数の傾きや接片の値が、グラフにどう反映するか、二次関数の係数が変化するとグラフがどう変化するか視覚的に確かめることができます。</li> </ul>
中学校・理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「金星の運動」(n88BASIC) マウスを使い、速さを変えたり止めたりしながら金星の位置とみかけの形によって視覚化したシミュレーションです。</li> <li>・「ショウジョウバエの遺伝」(KiT) 中学校3年理科第2分野の生物のつながり、生物の生殖と遺伝をショウジョウバエを例に、まとめとして利用できるコンピュータならではの教材です。</li> </ul>
中学校・技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャビネット図の書き方」(ファンタビジョン) 製図道具の使い方や基本的な線の引き方を、動きのある絵で具体的に学べます。等角図やキャビネット図の書き方も学べます。</li> <li>・「電気回路の構成」(n88BASIC) 電気回路のなかの、基礎から応用回路までを画面を見て試行錯誤を繰り返しながら「電気回路の構成」をすることができます。しかも、画面上で通電した状況を作り、その回路の解答まで得られます。</li> </ul>
高校・社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2世紀の世界」(FCAI) 世界史Aを履修する生徒を対象としたもので、グラフィックと基礎的な事項を組み合わせることで理解を深めることができるようにしてあります。</li> <li>・「アングロアメリカの地誌」(FCAI) 白地図にかかれた情報を使い、既習事項の確認と知識の定着を促すことを目標とした教材です。ドリル形式で、自学自習も可能です。</li> </ul>
高校・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋田の郷土料理」(FCAI) 家庭一般「食生活」の分野で日本の食事文化にふれる際、「秋田の郷土料理」に、関心をもたせるために活用できます。画面にはおいしそうな郷土料理の材料から作り方まで解説がいっぱいです。</li> <li>・「あなたは大丈夫?自己破産」(FCAI) 家庭一般、家庭経営、家庭経済の分野で活用できます。実際のデータを使用して、収入に見あった消費の大切さを確認させることで、消費者教育を充実させることができます。</li> </ul>
高校・農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「農業基本用語の学習」(FCAI) これだけは覚えて欲しい農業の基本用語をグラフや写真、更にはたくさんの解説を参考にして、自分で選択しながら楽しく覚えることができます。</li> <li>・「縦断面図の作成練習」(アシストカルク) 縦断面測量において、外業で得られたデータを整理して図面化するまでは、かなりの時間がかかりますが、データを入力し計算式を書き込むと作図して全体のイメージをつかむことができます。</li> </ul>

# 平成五年度

## 県教育センター研修講座について

◎平成五年度に開設する研修講座の編成に当たっては、平成四年三月に発行された秋田県教職員研修体系に基づくとともに、内容の見直しを図り、教育の今日的課題に対応した研修ができるよう配慮した。この中で、新設、名称変更及び再編成をした主な講座についてお知らせする。  
 ◎なお、研修講座の内容や実施期日等の詳細については、各学校等に送付する「平成五年度 研修講座案内」を御覧いただきたい。

### 新設講座

#### 環境教育

環境教育の目的や校種に応じた指導の内容及び方法について、講演や協議を通して研修する。  
 内容には、「学校における環境教育の推進」「教科領域等における環境教育」「秋田の自然と環境教育」等を予定し、二日間行う。  
 小・中学校、高校、特殊教育学校教員を対象とする。

### 名称変更講座

小学校理科教材開発  
 中学校理科教材開発  
 高等学校理科教育

従来の「理科教材教具製作」の実習等を中心とした内容に、開発の視点及び活用の実際を付加し、拡充を図るようにした。  
 中学校イングリッシュ・マスター

#### 高等学校イングリッシュ・マスター

#### 中・高等学校グローバル・コミュニケーション

名称の整理と、英語教員のコミュニケーション能力の向上を図りながら、多様な学習指導法等について研修できるようにした。  
 パソコン図形活用  
 機材ソフト作成(TP)  
 教材ソフト作成(ビデオ)

#### 講座内容が明確になるよう名称の整理をし、

パソコンを使用した教材作成とその活用法等について研修できるようにした。  
 登校拒否事例研究

#### 従来の「教育相談事例研究」のうち、登校拒否に

否に焦点を当て、児童生徒の諸状態の改善と学校適応のための指導の在り方について研修を深めるようにした。

### 再編講座

中学校理科教育

第1、第2分野を合併して行う。  
 小学校教科教育

各教科をそれぞれ一講座名に変更した。

#### 高等学校理科IA教育

物理、化学、生物、地学を毎年実施するが、内容はそれぞれの科目により異なるので、分かれて研修を進める。

#### 教育相談初級

小・中学校及び県立学校を一本化した。

### 申込手続き

申込みされると、特別な場合を除き受講決定になります。決定通知は出しませんので、期日や会場を確認の上受講してください。  
 詳細は講座案内に示します。

## 第8回 秋田県教育研究発表会

期日 平成六年二月十五日(火)～十六日(水)  
 会場 秋田県生涯学習センター

### 平成四年度教育センター 刊行物紹介

- 個を生かす教育指導の在り方
- 地域の教育力を生かした特色ある学校づくり
- 英語郷土教育資料(中・高編)

「Let's Look Into Akita」

- 精神薄弱特殊学級経営の手引
- 研究紀要 第二十四集
- 教育研究資料件名目録 第二十五集